



11月18日(日)

## 肱川の良さを存分に ～第28回肱川ふれあいまつり～

肱川地域最大のイベントである肱川ふれあいまつりが、「風のり広場」で行われました。

当日は、もちまきでオープニングを飾り、ダンスや山鳥坂鎮縄神楽、伊藤嘉晃<sup>よしあき</sup>さんによる歌謡ショーなど、たくさんのイベントが催されました。

肱川地域の伝統芸能や特産品などは人気があり、訪れた多くの家族連れでにぎわいをみせていました。



11月9日(金)

## 戦時中の食事体験 ～中学生交流事業～

河辺中学校の生徒と地元老人クラブとの交流事業が、河辺中学校で行われました。

生徒たちは、老人クラブのみなさんによる丁寧な指導の下、とうきびごはん、はなごねりを実際に作り、戦時中の食事を体験しました。

今回の交流事業に参加した生徒たちは、戦時中の話を聞くことで社会学習を深めることができ、また、お年寄りとの交流を楽しんでいました。



11月23日(金)

## 大洲のシイタケご覧あれ ～しいたけフェスタ2012 in 大洲～

大洲産のシイタケに親しみを持ってもらい、消費拡大につなげようと、たいき産直市愛たい菜で「しいたけフェスタ2012 in 大洲」が行われました。

今回で8回目の開催となり、当日は市内外から多くの方が来場し、各種イベントやシイタケを使ったグルメなどを楽しんでいました。

大洲産乾シイタケの生産量は、全国でも上位に位置していて、品質でも高い評価を得ています。



11月11日(日)

## 「福祉」と「健康」の充実を図って ～福祉と健康づくり市民のつどい～

福祉と健康のまちづくりの一環として、平成24年度福祉と健康づくり市民のつどいが、総合福祉センターで行われました。

会場には展示・即売、各種相談、健康診断などの健康に関するコーナーが多く設けられていました。

午後からは、女優の石井めぐみさんによる「やさしい街 やさしい人」を演題とした講演会があり、多くの方が来場しました。



11月25日(日)

## 大洲のええとこ紹介します ～ふるさとCM大賞撮影風景～

まちおこし団体である「ドラ・コミ・なんよ」が、ふるさとCM大賞の撮影を市内で行いました。ふるさとCM大賞は、愛媛朝日テレビ主催で毎年開催されているイベントです。同団体は、過去に2度大賞を受賞するなど、個性あふれるCMを作成しています。3度目の大賞を狙うため、出演者たちは、真剣な眼差しで撮影に取り組んでいました。



11月23日(金)

## 笑顔はじける舞台人 ～第2回大洲楽芸会～

楽しく発表できる場を提供しようと、2回目となる大洲楽芸会が、大洲市民会館大ホールで開催されました。市内より和太鼓、ピアノ演奏、ダンスなど数多くのジャンルから応募があり、24組の個人・団体が練習の成果を披露しました。観客からは各組の発表ごとに温かい拍手が送られ、会場は終始和やかな雰囲気になりました。



11月30日(金)

## 新品種米「にこまる」を広めたい ～お米甲子園県内初入賞～

「第3回全国農業高校お米甲子園」で特別優秀賞を受賞した、県立大洲農業高等学校の河口拓也さんと露口航之介さんが来庁し、喜びの報告を行いました。今回、同校は高温耐性の新品種米「にこまる」のエコ栽培に取り組み、香り・つや・甘味などで高い評価を受け、県内初の入賞校となりました。今後は、農業祭における「大農レストラン」で販売などを行う予定です。



11月23日(金)

## 伝統を受け継ぐ華麗な行列 ～るり姫まつり～

白滝に身を投げた『るり姫』の悲話伝説にちなんだ「るり姫まつり」が、白滝公園で開催されました。紅葉は見頃を迎えていて、多くの観光客が紅葉と滝との景観美を楽しみました。中でも、花みこしが白滝最大の瀑布『雌滝』の上から滝壺に投げ込まれると、会場からはひととき大きな歓声が上がりました。

【がんばる市内企業の事業活動や事業展開を紹介します】

# 大洲市森林組合

～山を守り、地域を守る存在であり続けたい～



大洲市森林組合は、1市2町1村の合併を機にスタートしました。現在、約180人の従業員がいて、若者も比較的多く働いています。森林組合は森林を管理し、組合員の協力の下、それに伴う事業を遂行しています。主な仕事は山の管理になりますが、大洲市は全国第5位の乾シイタケの生産地であり、生産者とともに生産販売なども行っています。山の管理に関しては、搬出間伐の依頼が最も多くなっている状況です。しかし、丸太価格の低迷や外国産木材の輸入など、林業を取り巻く環境は厳しくなっています。また、山林所有者の高齢化、後継者不足、不存在者の拡大が、さらなる悪循環を生み出しています。

## がんばる大洲企業

◇所在地 大洲市菅田町菅田

◇電話 25-4030



そのような中、森林組合では、国や県の補助事業を有効に活用し、少しでも組合員の負担を軽減できるように努力しています。シイタケに関しては、市内で開催される「しいたけフェスタ」に参加するなど、PR活動にも力を入れています。その品質には自信があり、どこへ提供しても恥ずかしくない産品です。あらゆる問題が山積する中、今後は、今以上に仕事の効率化を図る必要があります。そのためにも、事業計画を綿密に立て、それをきちんと全うできる環境づくりが大切だと考えます。森林組合は、組合員に支えられている団体です。山をきれいにするといいことは、自然を守り、私たちの生活を守ることでもあります。その意識がやりがいにつながり、モチベーションの向上にも影響を与えます。これからも、従業員が丸となり、山を守る存在であり続けたいと思います。

## 文化財

穂積のツバキ  
大洲市指定天然記念物  
個人所有



長浜町大和地区の穂積にある本樹は、樹高8.2m、根回り2.5m、目通り2.3m、枝張り東西8.6m、南北7.3mとバランスのよい樹冠をしていて、樹齢は約400年と推定されています。

品種名を「八重咲きしぼりおとめ」と言い、地元では「絞り乙女」と呼ばれています。開花の時期は2月～3月ごろで、ほとんどの花びらには、「絞り」と呼ばれる紅白の縦筋状の模様が入っていますが、中には純白や紅のものも見られます。

本樹は、市内にある同じ品種の中で最も古い大木で、現在でも毎年多くの花を咲かせています。

(平成9年8月27日指定)

## 野鳥

ハイイロチュウヒ  
(灰色沢鷺)  
タカ目タカ科  
大きさ45～50cm



雄の飛んでいる姿は、まるでカモメのように見えます。越冬のために日本へ渡ってくる個体数は少なく、出合える機会は少ないですが、時折大洲盆地にも現れます。平地の草原を好み、小鳥の多い田んぼの水路や川原の芦原などを低空で飛び、獲物を見つけると、たちまち急旋回して捕らえます。しかし、増えすぎたカラスに邪魔されるなど、狩りが成功することはまれです。

自然界は、特定の生物が増えすぎるとバランスが崩れ、思わぬ所に障害が生まれます。市内の農地も宅地化が進み、生物の生息場所は減少しつつありますが、後世にわたり、多くの野鳥が訪れる地域であってほしいと思います。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト④

iHola! (オラ。／こんにちは。)

中米のニカラグア国で、小学校教諭（算数教員）として活動している山口哲史です。

去る10月24日、私の働くフアン・B・セラヤ小学校で、保護者を招いての参観授業が行われました。その準備、当日の模様をレポートします。



突然ですが、写真の先生や児童が持っているものは、何だと思いませんか？

実はこれ、保護者への招待状です。ここでは、月間行事予定表や学級通信がないため、こうして告知するのです。

ジェニー先生のクラス（左の写真）では、先生が児童全員分を手作りしました。

当日、まずは3クラスの児童・保護者・先生が集まったの開会式が行われました。校長先生のあいさつや児童による歌の披露、そして、

なぜか私が「世界に1つだけの花」を歌い、参観授業が始まりました。

1年生は「数の大きさ比べ」、6年生は「分数のかけ算」をテーマとし、担当の先生たちは丁寧な説明で教えていました。

算数の授業での先生の補佐、児童への支援に加え、この「参観授業」の実施補佐も私の活動の1つです。

来年もぜひ、続けていきたいと思っています。



子どもを見守る保護者

## 大洲市消費生活センター通信

【悪質な貴金属などの訪問買い取りに注意！】

「不要な貴金属を買い取りたい」などと言って、業者が自宅を訪れ、強引な勧誘を行うケースが増えていきます。断りきれずに安い値段で買い取られてしまった、解約したけれど連絡先が分からない、すでに溶かして無いと言われたなど、被害は全国的に広がっています。

【被害にあわないために】

現段階において、貴金属などの訪問買い取りは、クーリング・オフはできません。（※）いったん品物を渡してしまうと、取り戻すことは大変困難です。

「見せてもらうだけ」と言われても、買い取りを希望しない場合は、きちんと断りましょう。なお、断っても帰らない場合は、警察へ連絡してください。

また、買い取りを依頼する場合は、契約前に事業者名・住所・電話番号などを確認し、買い取り価格の根拠となる書面をもらいましょう。

不審に思うことがあれば、早め到大洲市消費生活センターへ相談してください。

※法律が改正されたため、施行後（平成25年2月までに施行予定）は、クーリング・オフができるようになります。

【問い合わせ先】

大洲市消費生活センター

☎ 1790

【相談受付時間】

午前9時～正午

午後1時～5時

※月曜日～金曜日（祝祭日除く）

★センタークイズ★

平成23年度に、全国の消費生活センターに寄せられた訪問買い取りの相談件数は、次のうちどれ？

① 30件 ② 138件

③ 4143件

正解は19ページにあります。

